

文京区立少年自然の家八ヶ岳高原学園の指定管理者の評価結果について

文京区立少年自然の家八ヶ岳高原学園の令和5年度管理運営実績について、以下のとおり評価を実施した。

1 指定管理者

軽井沢フード株式会社

2 管理運営施設（1施設）

文京区立少年自然の家八ヶ岳高原学園

3 評価の経過

教育推進部に設置した指定管理者評価検討会（以下「評価検討会」という。）において、評価（一次評価）を行った。

令和6年7月 評価検討会による評価

4 評価結果

裏面のとおり

評価主体		評価検討会
分野評価	サービス向上の有効性 【配点 40 点】	35 点 B
	経費の効率性 【配点 12 点】	9 点 C
	管理運営の適正性 【配点 36 点】	27 点 C
	業務の改善性 【配点 0 点】	— —
総合評価 【配点 88 点】		71 点（81%） B

なお、詳細は別紙 1「少年自然の家八ヶ岳高原学園指定管理者の管理運営に対する評価報告書」のとおり。

《分野評価及び総合評価の見方》

評価	評価内容及び基準	
A	特に優れている。	（合計得点が、配点の 90%以上）
B	優れている。	（合計得点が、配点の 80%以上 90%未満）
C	おおむね適正である。	（合計得点が、配点の 60%以上 80%未満）
D	改善が必要である。	（合計得点が、配点の 40%以上 60%未満）
E	相当な改善が必要である。	（合計得点が、配点の 40%未満）

少年自然の家八ヶ岳高原学園
指定管理者の管理運営に対する評価報告書
【令和 5 年度実績】

令和 6 年 7 月
少年自然の家八ヶ岳高原学園 評価検討会

所管課	教育推進部学務課
評価対象期間	令和５年４月１日 ～ 令和６年３月３１日 (指定期間５年中の２年目)

１ 指定管理の概要

施設名称	少年自然の家八ヶ岳高原学園
施設の設置目的	区立学校の児童・生徒の移動教室及び林間学校を行い、その心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的とする。
指定管理者名称	軽井沢フード株式会社
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月３１日
公募・非公募の別	公募
管理業務内容	(1) 文京区立小学校の移動教室及び林間学校の受入に係る業務 (2) 学園の使用承認及び文京区民等の受入に係る業務 (3) 学園の施設及び設備の維持管理に係る業務
利用料金制の有無	無

2 収支状況

(1) 指定管理料及び利用料金

年度		R4	R5	R6	R7	R8
収 入	指定管理料	61,072,000	61,072,000			
	提案事業料	153,100	130,800			
	その他雑収入	164,975	8,940			
	給食食材費（区立小中学校）	8,362,256	8,321,345			
	食事料（一般開放）	1,542,145	1,524,330			
	合計（A）	71,294,476	71,057,415	0	0	0
支 出	人件費	40,715,218	40,091,830			
	事業運営費	738,102	890,712			
	事務用品・消耗品購入費	3,006,169	2,694,345			
	備品購入費	505,154	184,100			
	役務費	1,318,932	1,194,515			
	保守・点検費	5,853,250	7,091,499			
	寝具類等維持管理費	2,743,825	2,597,660			
	施設修繕費	758,647	1,068,100			
	施設修繕原材料購入費	234,439	497,714			
	施設維持管理費	1,016,400	163,370			
	給食等運営費	10,209,176	10,505,331			
	車両維持管理費	90,870	98,489			
	車両維持燃料費	94,693	147,090			
	保険料	5,000	146,120			
	職員研修費	7,974	0			
	通信費	448,290	449,316			
	本社管理費	3,131,131	3,364,386			
	本 社 管 理 費 内 訳	人件費				
		総務・経理等人件費	1,591,131	1,314,736		
		支援要員人件費	0	0		
		福利厚生費	120,000	314,448		
		販売費・一般管理費				
		通信関係費	90,000	102,500		
		労務・会計関係	500,000	435,900		
		研修費	30,000	99,915		
		宿舍経費	100,000	246,027		
		旅費交通費	50,000	27,620		
		備品・消耗品関係費	200,000	238,250		
		保険料	450,000	584,990		
	合計（B）	70,877,270	71,184,577	0	0	0
収支（A）－（B）		417,206	-127,162	0	0	0
【特記事項】						

(2) 自主事業（指定管理者の費用と責任で実施する事業）

年度		R4	R5	R6	R7	R8
収 入	使用料	231,900	67,200			
	合計（A）	231,900	67,200	0	0	0
支 出	物品購入費	115,656	117,666			
	合計（B）	115,656	117,666	0	0	0
収支（A）－（B）		116,244	-50,466	0	0	0
【特記事項】						

3 評価検討会委員

	役職	委員名
1	座長	教育推進部長 吉田 雄大
2	副座長	教育推進部学務課長 中川 景司
3	委員	教育推進部教育指導課長 山岸 健
4	委員	教育推進部学務課学事係長 鈴木 仁美
5	委員	教育推進部学務課施設担当主査 谷津 星駿
6	委員	教育推進部学務課給食担当主査 上田 千恵
7	委員	礪川小学校 中西 賢
8	委員	茗台中学校 今野 稔恵

4 評価の対象とした資料

	評価の対象とした資料名	評価項目番号
1	協定書（基本協定書、令和4年度協定書、取扱細目）	①
2	業務要求水準書	①
3	事業報告書 （事業計画書、企画提案書、金銭出納簿、職員研修 実施報告書、利用者アンケート実施報告書を含む）	①③⑤⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑯⑰
4	広報物	④
5	備品台帳	⑮
6	モニタリング結果	⑨⑭
7	苦情とその対応の記録	⑥
8	個人情報保護規定の整備状況	⑯
9	情報公開規定の整備状況	⑰
10	危機管理マニュアル及びその対応記録	⑱

5 評価結果
(1) 分野評価

評価分野	評価得点	評価項目	配点	評価	得点
サービス向上の有効性 【配点40点】	B 35点	① 協定書、業務要求水準書等で区が求めた事業が適切に実施されたか。	4	4	4
		② 区が求めた事業以外に、住民サービスの向上を図るための自主事業が積極的に計画され、事業計画書や企画提案書に沿って適切に実施しているか。	8	3	6
		③ 利用者懇談会や利用者アンケートにより、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取組が行われたか。	4	4	4
		④ 区民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	4	4	4
		⑤ 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	8	4	8
		⑥ 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	4	3	3
		⑦ 利用者数、稼働率等の実績が、当該指定期間開始前と比べて同程度か。	8	3	6
	【評価理由】 ①提案事業において立地や木材・陶芸教室等の地域資源を活用したものとなっていてよい。 ②自主事業として設置した4プランは、どの世代の人でも楽しむことができ少人数利用のアンケート結果によると、満足度がかなり高い。 ③利用者アンケートでは、小中学生の9割以上、区民開放の8割以上が満足と回答しており利用者満足が高い。一般利用者へのアンケートや学校利用での事前打ち合わせ等を積極的に行い、改善が必要なものに関しては、スピード感をもって改善を行った。 ④検索サイトから検索する際、八ヶ岳高原学園のホームページが容易に見つかりよい。遠方なので、広報活動がなかなか利用者増に直結しにくいところではあるが、SNSの活用及び更新頻度等、通常業務に加えて力を入れている。 ⑤学校関係だけではなく、区民の一般利用者からも概ね高評価を得ている。清掃状況の評価がよく、快適に過ごせたという意見があった。 ⑥苦情がなかった点は評価に値する。 ⑦前年度である令和4年度は、令和5年度には利用のない中学2年生が利用しているため、その分鑑みると利用者数は増加していると考える。				
	C 9点	⑧ 経費節減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	4	3	3
		⑨ 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	4	3	3
		⑩ 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。	4	3	3
経費の効率性 【配点12点】	【評価理由】				

評価分野	評価得点	評価項目	配点	評価	得点
管理運営の適正性	C 27点	⑪ 金銭の管理が適正に行われたか。	4	3	3
		⑫ サービスを低下させない適切な人員配置が行われたか。	4	3	3
		⑬ 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	4	3	3
		⑭ 利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	4	3	3
		⑮ 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	4	3	3
		⑯ 文京区個人情報保護条例の規定を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理のために必要な措置が講じられ、漏えい、滅失、毀損等の事故が起きていないか。	4	3	3
		⑰ 文京区情報公開条例の趣旨にのっとり、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または区から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	4	3	3
		⑱ 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	4	3	3
		⑲ 省エネやごみの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	4	3	3
	【評価理由】 ⑫適切に人員の配置を行いサービスの低下は見られない。 ⑬マニュアルの見直し、職員間での研修などを適切に行い、常にアップデートしている。 ⑭利用者のアンケート結果によると、設備、清掃状況の評価が高い。 ⑮保管場所等の確認をしたほか、備品名・画像・保管場所をデータ化するなど適切な管理ができています。 ⑯社内規定による鍵を含めた保管場所の整備を適切に行い、滅失・漏洩などの事故は起きていない。 ⑰マニュアルの見直し、連絡網の整備、日常の点検・整備など適切に行われている。				
業務の改善性	—	⑳ 前回の評価（一次評価及び二次評価）を受けて、適切な改善が図られたか。	—	—	—
	—				
	《前年度総合評価における改善すべき事項》 【評価理由】				

(2) 総合評価

評 価	B	得 点	71点 / 88点
【所見】 ・学園は公立学校の移動教室を実施するうえで必要な施設であるが、利用する児童、生徒の安心安全はもとより、区民が利用しやすいよう工夫がされており、評価できる。 ・異物混入やアレルギー対応の事故無く、安全安心な給食が実施された。 ・学園の施設について、各学校の反省記録を見ると、とても丁寧に対応していただき、快適に過ごすことができた。 ・各部屋やイベント会場、水回りなど、施設全体の清掃が行き届いていたため、快適に過ごすことができた。 ・スタッフの対応についても、とても親切に対応していただき、快適に過ごすことができた。雨天時の対応など、急なお願いにも即時対応してくれた。BBQの火起こしを手伝っていただき助かったという声もあった。 ・生憎の雨でも室内でできるモルックを提案していただきみんなで楽しむことができた、東京ではここまで沢山の木を集める機会がないため貴重な経験だったという声もあった。 ・食事については大変おいしく、栄養のバランスの良い食事を用意していただいた。いつもは好き嫌いが多く、給食を残す児童もほとんど完食していた等の良い反省が多かった。除去食対応も適切に行ってくださった。欠席者がいたが、食数の対応などもスムーズにしてくださった。 【改善すべき事項】 なし			

《評価結果の見方》

(1) 分野評価

評価項目ごとに4段階評価を行い、その結果に応じた乗率を各評価項目の配点に乗じて採点し、各評価分野の合計得点を5段階評価します。

① 4段階評価・乗率

評 価	評価内容及び基準	乗 率
4：優良	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を超える成果がある。	100%
3：適当	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を満たしている。	75%
2：課題あり	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を満たしているが、一部に課題がある。	50%
1：要改善	協定書、業務要求水準書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	0%

② 5段階評価

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、特に優れている。 (分野の合計得点が、配点の90%以上)
B	当該分野について、優れている。 (分野の合計得点が、配点の80%以上90%未満)
C	当該分野について、おおむね適正である。 (分野の合計得点が、配点の60%以上80%未満)
D	当該分野について、改善が必要である。 (分野の合計得点が、配点の40%以上60%未満)
E	当該分野について、相当な改善が必要である。 (分野の合計得点が、配点の40%未満)

(2) 総合評価

各評価分野の得点を合計し、その合計得点を5段階評価します。

評 価	評価内容及び基準
A	総合評価の結果、特に優れている。 (合計得点が、配点の90%以上)
B	総合評価の結果、優れている。 (合計得点が、配点の80%以上90%未満)
C	総合評価の結果、おおむね適正である。 (合計得点が、配点の60%以上80%未満)
D	総合評価の結果、改善が必要である。 (合計得点が、配点の40%以上60%未満)
E	総合評価の結果、相当な改善が必要である。 (合計得点が、配点の40%未満)